

## ■パーキンソン病ってどんな病気？

主に60～70代以上の過多に発症する病気で、最近では若い人の発症も増えてきており、国の指定する難病の中で一番患者数が多く、日本での患者数は推計20万人以上いるとされています。

残念ながら未だパーキンソン病の根本的な治療法は見つかっていません。そういう意味では不治の病です。しかし、適切な薬物治療やリハビリ等の運動療法により足腰等が弱まることを予防することで、今は患者のほとんどの方が天寿を全うできるようになりました。

※1 厚生労働省「平成30年度 衛生行政報告例」  
※2 日本神経学会「パーキンソン病診療ガイドライン」

## ■パーキンソン病の症状

大きく分けて【運動症状】と【非運動症状】があります。

### 運動症状

- ① 安静時振戦（縫式に手足が震える）
- ② 固縮（筋肉がこわばる）
- ③ 動作緩慢（手足の動きがゆっくりになる）
- ④ 姿勢反射障害（転びやすくなる）

### 非運動症状

- ① 排泄障害（便秘・頻尿）
- ② 嗅覚障害（においが感じにくくなる）
- ③ 不眠
- ④ 幻覚
- ⑤ 低血圧
- ⑥ 認知症

## ■パーキンソン病友の会とは

原因不明の難病であるパーキンソン病の原因究明と、根本治療1日も早く確立し療養生活安定と向上を目指し1976年（昭和51）に患者たちにより全国パーキンソン病友の会が結成されました。その10年後、千葉県パーキンソン病友の会は1986（昭和61年）に発足しました。現在、全国で約8,000名、千葉県では約250名の患者様やご家族が会員になっており、パーキンソン病患者の療養生活の向上を目指し活動を行っています。

## ■会ではこんなことをやっています

- ① 会報発行（全国友の会 年4回、千葉県友の会 年3回）
- ② 千葉県内各区地域や Zoom での交流会
- ③ 医療講演会や研修、旅行、運動など
- ④ ご相談・情報提供（電話・FAX・Mail・LINE など）

医療的な相談についてはお答えでき兼ねる場合があります。患者さんだけでなく、ご家族からの介護相談も可能です。内容によっては、他機関を紹介する場合があります。医療機関や施設の紹介、斡旋は行なっておりません。



パーキンソン病友の会は全国にあり、各ブロックごとに活動しています。



（船橋アンデルセン公園）



（ケアマネージャーの方をお呼びした講演会）

## 船橋地区ブロック代表

やまぐち まゆみ

山口真弓さん



当たり前ですが、パーキンソン病になりたくてなった人なんていない。

たまたまなってしまった。

でも、お薬によってそれなりの生活ができ、天寿を全うできます。

パーキンソン病は国の指定した『難病』です。

『難病』という言葉のイメージから『医療』とか『可哀想』とか連想する方が多いです。

もちろん、病気を患っているのだから医療は必要ですが、本当にそれだけでしょか？

本当に可哀想なのでしょうか？

大事な家族がいて楽しい趣味があってもそれでも難病患者ってだけで可哀想？

年をとればみんな大なり小なり持病がある。

不幸かどうか、可哀想かどうかは本人が決める話です。

難病だろうが、本人が死ぬ間に『いい人生でした！』

となればOK。



Instagram

## 友の会への入会のご案内

パーキンソン病の患者さんだけでなく、ご家族や医療介護の専門職の方などパーキンソン病にかかわる方で、会の趣旨に賛同される方ならどなたでも入会可能です。

●入会や資料請求をご希望される方はお気軽にお問い合わせください。案内一式をお送りいたします。

年会費・・・5,000円